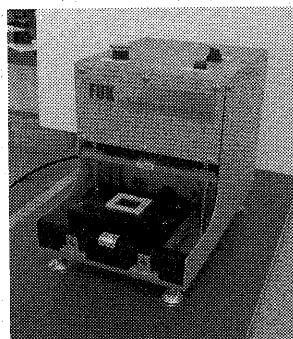


# 任意形状に打ち抜き

## FUK 脆性素材に対応

FUK(奈良県御所市、植村光生社長、0745・63・0101)は、プリント基板やタッチパネルなどに用いる樹脂カバナーや光学系フィルムを任意の形状に打ち抜ける高浸透打ち抜き装置(写真)を発売した。エア駆動で、素材を上下の刃型ではさんで両刃があたらない程度に食い込ませて切断する。価格は約60万円。厚手の素材や衝撃などに弱い脆性素材の打ち抜きに適している。



加工対象物(ワーク)の材質に応じて両刃型の食い込ませ速度や圧力、かみ合い時のすき間を事前に設定し、素材を下の刃型台に置いて作動ボタンを押すだけで瞬時に打ち抜ける。C面、R面といった曲線加工に対応する。粉塵も出ない。プリント基板やアクリル樹脂(PMMA)、ポリカーボネート、ハードコートポリエチレンテレフタレート(PET)のほかに、セラミックス、複合材を打ち抜ける。プリント基板やPMMAプレートなどはエンドミルなどは切削加工が主流。これに比べて打ち抜き装置は再現性に優れており、効率化を図れる。

ほかに、セラミックス、複合材を打ち抜ける。プリント基板やPMMAプレートなどはエンドミルなどは切削加工が主流。これに比べて打ち抜き装置は再現性に優れており、効率化を図れる。